

平成 21 年度秋田大学公開講座

日時

平成 21 年

10月6日(火)～

12月15日(火)

毎週火曜日 全 10 回

11月3日(火)を除く

18時30分～

20時00分

初回と最終回のみ開閉講式のため 20 時 10 分まで

場所

カレッジプラザ

秋田市中通 2 丁目 1-15

明德館ビル 2 階

募集人員

30 人

(一般市民)



「東国輿図中の都城図」(19世紀前半)
 (『古地図と古書で見るソウル』ソウル大学校章章閣・1994年)



礼器「犧尊」(前10～9世紀)
 (『中国宝展』東京国立博物館・朝日新聞社・2000年)



副葬品「馬俑」(6世紀)
 (『中国重大考古発見』文物出版社・1989年)



成都杜甫草堂「月洞門」(現代)
 (撮影者：石川 三佐男)

受講料

5,000 円 (10 講義分)

申込期間

10月5日(月)まで(ただし、土・日・祝祭日を除く)

申込方法

電話、FAX、Eメール、社会貢献推進室窓口

第 1 回
10月6日(火)

中国古代の歌謡・詩経 —その普遍知検証—

秋田大学 教育文化学部
教授 石川 三佐男

第 2 回
10月13日(火)

李白と杜甫 —二人の交流をめぐる詩—

弘前大学 人文学部
教授 植木 久行

第 3 回
10月20日(火)

唐代の社会と文化 —遊牧社会の伝統と変容—

秋田大学 教育文化学部
講師 内田 昌功

第 4 回
10月27日(火)

唐代の社会と文化 —則天武后とその時代—

第 5 回
11月10日(火)

ソウルから見る朝鮮の歴史と文化①

秋田大学 教育文化学部
准教授 高村 竜平

第 6 回
11月17日(火)

ソウルから見る朝鮮の歴史と文化②

第 7 回
11月24日(火)

墨家の革命論 —非命と義の思想と戦国諸侯の称王の論理—

秋田大学 教育文化学部
教授 吉永 慎二郎

第 8 回
12月1日(火)

孟子の革命論 —非命かつ天命の民本的革命論と保守の思想—

第 9 回
12月8日(火)

秋田学術学芸文化論 —狩野旭峰翁頌徳碑(千秋公園)—

秋田大学 教育文化学部
教授 石川 三佐男

第 10 回
12月15日(火)

秋田学術学芸文化論 —旭峰詩鈔初編(天・地・人)—

主催 / 秋田大学

共催 / 大学コンソーシアムあきた

申込・問合せ先

秋田大学 社会貢献推進室

秋田大学ホームページ
<http://www.akita-u.ac.jp/>

TEL:018-889-2270 FAX:018-889-3194
 Email:shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

シリーズ第二弾。
 東アジアの文化と社会を中国古典・文学、中国歴史研究、朝鮮研究、中国思想史研究、秋田文化研究という各分野の視点から、最新の研究成果をふまえて具体的なテーマを設定し、それを切り口として分かりやすく、その文化の特質と社会の実像にアプローチします。

東アジアの文化と社会Ⅱ

平成21年度秋田大学公開講座
東アジアの文化と社会Ⅱ

[講義日程]

	日時	講義題	講義概要
第1回	10月6日(火) 18:30~20:10 (開講式18:30~18:40)	中国古代歌謡・詩経 —その普遍知検証—	前4、5世紀ころに成った『詩経』は古代黄河流域の文化を反映する中国最古の歌謡集。特筆すべきは当時すでに、過去・現在・未来を貫く「普遍知」を豊かに獲得していたことである。本講ではその具体を歌謡・文献資料・考古資料・日本の伝統文化資料によって検証する。
第2回	10月13日(火) 18:30~20:00	李白と杜甫 —二人の交流をめぐる詩—	中国の二大古典詩人、李白と杜甫は、奇しくも一年半、親密に交遊し、離別後も杜甫は終生、李白を慕う詩を作り続けた。李白の「魯郡の東の石門にて杜甫を送る」、杜甫の「李白を夢む」詩の絶唱を中心に、美しい友情のうたを読む。
第3回	10月20日(火) 18:30~20:00	唐代の社会と文化 —遊牧社会の伝統と変容—	4~6世紀における中国の分裂の原因の一つは遊牧民の南下でした。李氏を始め、唐初の有力者の多くは遊牧民に出自し、その社会は遊牧社会の性格を残していました。第1回は遊牧民という観点から唐初の社会を読み解いていきます。
第4回	10月27日(火) 18:30~20:00	唐代の社会と文化 —則天武后とその時代—	南北朝時代以来の伝統の上に成立した唐初の社会が、大きく変化を始めるのが則天武后の時代です。武后というとその強烈な個性に目を奪われますが、第2回はその後で変貌を遂げ始める中国社会に焦点をあわせま
第5回	11月10日(火) 18:30~20:00	ソウルから見る朝鮮の歴史と文化①	ソウルは朝鮮王朝の建国時に王都として建設され、これまで首都として機能してきました。初めにソウルの地理的位置や名称の変遷などの基礎的な情報を整理した後、第1回は朝鮮時代のソウルを題材として、風水思想や身分制度など朝鮮時代に根付いた文化を紹介し
第6回	11月17日(火) 18:30~20:00	ソウルから見る朝鮮の歴史と文化②	明から清への交代、豊臣秀吉の日本や清の侵入、西洋の開国要求とロシア・日本との関係など、朝鮮と外国との関係の変動について、首都ソウルにおこった変化を題材として紹介し
第7回	11月24日(火) 18:30~20:00	墨家の革命論 —非命と義の思想と戦国諸侯の称王の論理—	戦国の画期を為す諸侯が王を称する論理は墨家の非命と義の思想に負っている。漢初には滅学していたこともあって墨家思想は相応の評価を与えられてはこなかった。鍵となる非命の概念を解明しつつ、墨家の革命論の歴史的役割を明らかにする。
第8回	12月1日(火) 18:30~20:00	孟子の革命論 —非命かつ天命の民本的革命論と保守の思想—	孟子の思想形成は墨家の思想と論理の受容なしにはあり得ず、かつそれを用いて墨家思想を克服したところに孟子思想が成立した。孟子の思想の本質は、喧伝される革命論ではなく実は保守の思想にある。今その論理とメカニズムを明らかにする。
第9回	12月8日(火) 18:30~20:00	秋田学術学芸文化論 —狩野旭峰翁頌徳碑(千秋公園)—	秋田の学術学芸文化は江戸漢学の坩堝を演じた実績に根ざし、筋金入りである。本講では幕末から大正期にかけて活躍した漢学者・新聞記者「狩野旭峰翁頌徳碑」(昭和11年建立・塩谷温撰・狩野亨吉書)を解説することを通じ、秋田の学術学芸文化について考
第10回	12月15日(火) 18:30~20:10 (開講式20:00~20:10)	秋田学術学芸文化論 —旭峰詩鈔初編(天・地・人)—	本講では幕末・明治・大正の三代に涉って漢学者・新聞記者として活躍した狩野旭峰(天保3年~大正14年)の自著『旭峰詩鈔初編(天・地・人)』三冊(秋津舎梓・明治42年刊)を解説することを通じ、銘記しておきたい秋田の学術学芸文化について考

[会場案内図(カレッジプラザ)]



※お車で越しの方は、明徳館ビル内立体駐車場をご利用ください。公開講座開催期間中は無料でご利用いただけます。ただし、高さ1.5mを超える車両はご利用いただけませんのでご了承ください。その場合は、恐れ入りますが周辺の有料駐車場をご利用くださるようお願い申し上げます。

